

# 尼崎市・アウクスブルク市 姉妹都市提携50周年記念事業報告書



50周年を記念してアウクスブルク市から贈られた記念品の前で握手を交わす両市長



平成22年8月  
尼崎市



## 目 次

序	1
尼崎市国際交流協会が50周年前夜祭を開催	2
アウクスブルクに響き渡る大正琴！広がる交流の輪	3
ようこそ尼崎市へ、アウクスブルク市民団の来訪	4
シンボルキャラクターの名前「あまルク」に決まる	6
市民が祝う50年！尼崎市民団、アウクスブルク市を訪問	7
アウクスブルク市代表団が来尼、市内で演奏も	8
誓いも新たに 50周年記念式典	13
国道沿いの新たなシンボルに ア市記念品除幕式を挙行	16
共に歩んで50年 ア市代表団を囲み市民交流会を開催	17
アウクスブルク市の経済関係者が本市訪問	20
アウクスブルクから本場の人形劇がやってきた！つかしんで公演	21
ア市青年使節団が来訪 ホームステイを体験	23
姉妹都市を身近に アウクスブルク市紹介展を開催	30
尼崎市・アウクスブルク市姉妹都市提携50周年記念事業	31
尼崎市・アウクスブルク市交流年表	35



## 序

平成 21 年 4 月 7 日、尼崎市とアウクスブルク市は、姉妹都市提携 50 周年の節目を  
\* 迎えました。

両市の関係は、尼崎市に工場を持つヤンマー株式会社の創業者山岡孫吉氏が超小型ディーゼルエンジンを開発し、昭和 30 年にドイツ発明協会からディーゼル金賞碑を受賞したことに感謝と敬意をこめて、昭和 32 年にエンジン発祥の地アウクスブルク市にディーゼル記念石庭苑を贈呈したことにはじまります。この年はルドルフ・ディーゼル生誕百年とディーゼルエンジン発明 60 周年にあたる年でした。このことをきっかけに両市間で姉妹都市提携の機運が高まり、昭和 34 年に日本とドイツの間で初めての姉妹都市提携が実現しました。

今回、両市の姉妹都市提携 50 周年を記念して、本市では市民をはじめ事業者や各種団体の皆様方の多くのご協力を得て、様々な企画や行事が催され、1 年をかけて共にお祝いの気持ちを共有しました。また、アウクスブルク市からは、Dr. クルト・グリーブ市長をはじめとする多くの方々が本市を訪問され、今後 100 周年に向けて両市のますますの発展と両市民のさらなる交流を祈念しました。特に、これまで青年使節団がお互いのまちを何度も行き来し、異なる文化を体験し交流を広げてきたように、今後も両市において若い世代の交流がますます発展し、引き継がれていくことが期待されています。

\* この冊子では、記念すべき 1 年を写真とともに紹介し、両市の長年にわたる交流と友好関係の歴史を振り返ります。

